

# 栗原の稲作通信

令和4年第1号 令和4年6月2日発行

宮城県栗原農業改良普及センター

宮城県米づくり推進栗原地方本部

電話番号 0228-22-9404

分げつ促進のため浅水管理を基本としましょう / いもち病の要因となる残苗を処分しましょう

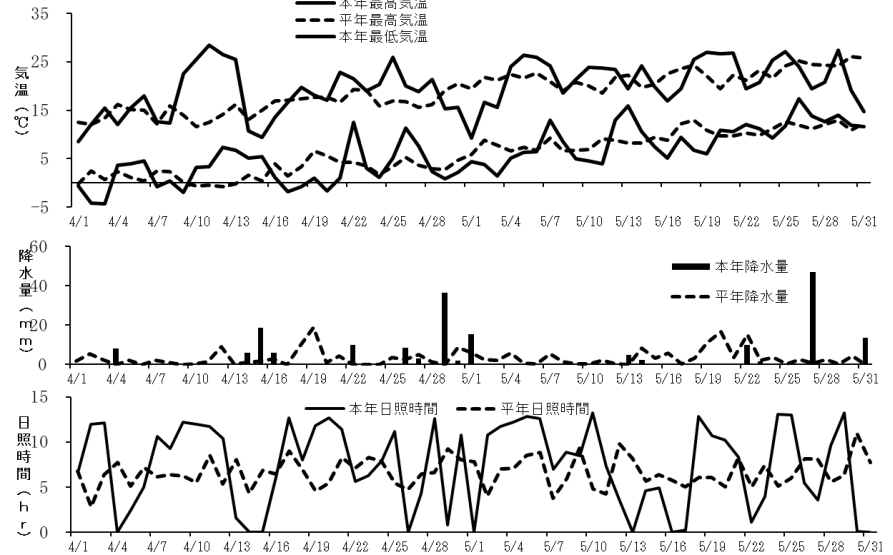
## 気象経過

- 4月：高気圧に覆われて晴れて気温の高い日が多く、日照時間も多くなりました。
- 5月：気温は平年並、降水量は上中旬が少なく、下旬は多くなりました。日照時間は平年並となりました。

### 東北地方1か月予報

期間：5/28～6/27  
仙台管区气象台5月28日発表より要約

予想される向こう1か月の天候  
平均気温：平年並または高い 見込み  
降水量：多い 見込み  
日照時間：少ない 見込み



気象経過（アメダス築館）\*点線は平年(過去5か年平均)

## 播種・田植え状況

- 播種盛期（50%終了）は、平年並の4月14日、播種終期（95%終了）は、平年より3日遅い4月26日となりました。
- 田植盛期（50%終了）は、平年並の5月14日、田植終期（95%終了）は、平年より1日遅い5月24日となりました。

## 生育経過

- 田植時調査では、前年と比較し、植付本数、莖数ともに少なくなっています。
- 6月1日調査では、田植日が前年より遅いことも影響し、前年と比較し草丈は短く、莖数も下回っています。

表1 生育調査ほ調査結果（6月1日調査）

品 種 地 区	田 植 日		田 植 時 調 査									
			栽 植 密 度			植 付 本 数			莖 数			
	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比
ひとめぼれ 築館 北部平坦	5/14	5日遅	8日遅	16	96	97	4.9	91	111	78	87	109
ひとめぼれ 若柳 北部平坦	5/20	1日遅	1日遅	17.6	97	88	4.9	88	96	86	85	92
ひとめぼれ 一迫 西部丘陵	5/12	4日遅	-	18.9	98	-	2.7	59	-	51	57	-
ひとめぼれ 平均	5/15	3日遅	3日遅	17.5	97	-	4.2	81	-	72	77	-

品 種 地 区	苗 質 調 査						6月1日調査								
	草丈(cm)			葉数(枚)			草丈(cm)			莖数(本/m <sup>2</sup> )			葉数(枚)		
	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ 築館 北部平坦	15	111	109	3.2	0.0	0.3	31	97	105	91	70	58	5.6	0.3	-0.6
ひとめぼれ 若柳 北部平坦	18	103	113	3.7	-0.5	0.2	22	94	100	95	82	82	4.6	-0.2	-0.3
ひとめぼれ 一迫 西部丘陵	15	97	-	3.1	0.9	-	21	91	-	64	63	-	5.3	0.6	-
ひとめぼれ 平均	16	106	-	3.3	0.1	-	25	94	-	84	72	-	5.2	0.3	-

※1 調査ほ場の平年値は過去5年平均。

※2 一迫ひとめぼれは、令和2年から調査農家変更のため、平年値はなし。

※3 6月1日調査は「ひとめぼれ」のみの実施となります。その他の品種は6月10日調査から実施します。

## 今後の管理

### ■水管理

- ・活着後は2～3 cm程度の浅水で管理し、水温・地温を高めて分けつの発生を促しましょう。  
極端な低温が続くと予想される場合には、水深を5～6 cmの深めにしてイネを低温から守りましょう。
- ・生わらや牛ふん堆肥などの有機物を多用している水田では、気温の上昇とともに有機物の分解が盛んになり、イネに有害な硫化水素などのガスが発生しやすくなります。このような場合は、溝切りや落水管理を行い、根の活力低下を防ぎましょう。
- ・除草剤を使用する場合は、使用上の注意事項をよく読み、適切な水管理に努めましょう。

### ■雑草対策

- ・表層剥離が多発すると、フロアブルやジャンボ剤では拡散が妨げられ濃度のムラが生じ、局所的に薬害や残草が生じます。藻類や表層剥離の発生が懸念される場合には、徐々に落水して浅水管理を行い、降雨時には落水して田面に雨が当たるように管理しましょう。除草剤散布前に藻類や表層剥離が目立つ場合は、田面水を交換してから除草剤を散布するようにしましょう。ただし、除草剤散布後7日間は必ず止め水してください。
- ・ほ場の残草状況を確認し、草種と葉齢に応じて、中期剤の使用を検討しましょう。
- ・ノビエ、イヌホタルイ、シズイなどの雑草により、斑点米の原因となるアカスジカスミカメが水田内で増殖して被害が助長されます。

### ■病害虫防除

#### ▷いもち病

- ・補植用残苗はいもち病の発生源となりますので、補植が終了したら直ちに処分しましょう。
- ・飼料用米や直播栽培など、箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、各種水面施用剤を散布しましょう。

#### ▷イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ

- ・箱施用剤を使用した場合 …… 本田での防除は必要ありません。  
箱施用剤を使用しなかった場合 …… 要防除密度（下記参照）により防除の実施を判断しましょう。

#### 要防除密度

イネミズゾウムシ	畦畔際 2 m 程度の成虫密度 140 頭/100 株（晩期栽培は 70 頭/100 株）
イネドロオイムシ	成虫密度 25 頭/100 株 または 産卵最盛期の卵塊密度 80 個/100 株

### ■春の農作業安全確認運動実施中 実施期間 4月1日～6月30日

#### 「しめよう！シートベルト」

農業機械作業による死亡事故が多発しています。シートベルトを着用することで死亡事故の発生を大幅に低減できるため、トラクター運転時は装着を徹底しましょう。また、安全フレーム等の装備を改めて確認し、公道を走行する際には灯火器類の設置や法令遵守を徹底しましょう。

### ■農薬危害防止運動実施中 実施期間 6月1日～8月31日

農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病害虫、使用方法、最終有効年限などを確認して、定められた方法を厳守しましょう。

最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターのホームページで確認することができます。